

平成26年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	特定行為に係る研修機関導入支援事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	開始年度:平成26年度 終了(予定)年度:終了予定なし		担当課室	看護課		課長:岩澤 和子		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医師又は歯科医師の指示の下、プロトコル(手順書)に基づき、特定行為(診療の補助のうち、実践的な理解力、思考力及び判断を要し、かつ高度な専門的知識及び技能をもって行う必要のある行為)を行おうとする看護師に対して指定研修の受講が義務づけられる。この研修制度の円滑な施行のため、指定研修機関の設置準備について支援を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	看護師の特定行為に係る研修機関の指定に必要なシミュレーター購入費やカリキュラムの策定等の支援のための補助を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	12	640	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値(年度)
	指定研修修了者数	成果実績	機関	-	-	-	-	
		目標値	機関	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	補助施設数	活動実績	施設	-	-	-	-	
		当初見込み	施設	-	-	-	3	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	単位当たりコスト = X / Y		単位当たりコスト	円	-	-	-	3,916,000
	X:補助金の執行額 Y:補助施設数		計算式	円 / 施設	-	-	-	11748千円/3施設
平成26・27年度予算内訳(単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	医療関係者研修費等補助金	12	612	補助施設数増				
	衛生関係指導者養成等委託費	-	20	「新しい日本のための優先課題推進枠」632				
	諸謝金	-	0.7					
	職員旅費	-	0.4					
	委員等旅費	-	0.6					
	庁費	-	6					
	計	12	640					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	医師又は歯科医師の指示の下、手順書に基づき、診療の補助のうち、実践的な理解力、思考力及び判断力を要し、かつ高度な専門的知識及び技能をもって行う必要のある行為を行おうとする看護師の研修制度の実現は、ひいては看護業務の安全性の確保に繋がり、国民のニーズが高く、国費を投入すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医師又は歯科医師の指示の下、手順書に基づき、診療の補助のうち、実践的な理解力、思考力及び判断力を要し、かつ高度な専門的知識及び技能をもって行う必要のある行為を行おうとする看護師の研修制度の実現に向けて、看護師による業務の実施状況等の検証を行うものであり、民間に委ねることができない。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	医師又は歯科医師の指示の下、手順書に基づき、診療の補助のうち、実践的な理解力、思考力及び判断力を要し、かつ高度な専門的知識及び技能をもって行う必要のある行為を行おうとする看護師の研修制度の実現に向けて、看護師による業務の実施状況等の検証を行うものであり、優先度が高い事業となっている。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	当事業に必要な経費のみを対象としており妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	当事業に必要な費目・使途のみに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点検・ 改善結果	点検結果	本事業は、医師又は歯科医師の指示の下、手順書に基づき、特定行為の研修制度を行おうとする看護師の円滑な施行のため、指定研修機関の設置準備について支援を行うものであり、指定研修機関の確保のために必要な事業である。			
	改善の方向性	今後については平成26年度実施状況を踏まえて、事業の見直しや予算要求を行っていきたい。 なお、特定行為に係る研修制度については、平成27年10月に改正保助看法の施行により創設されるため、成果目標は「-」としている。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
-					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新26-008

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
12百万円

[特定行為を行おうとする看護師の研修制度における指定研修期間の設置準備のための補助]



医療機関等(指定研修機関(予定))
12百万円

[看護師の特定行為に係る研修機関の指定に必要なシミュレーターの購入やカリキュラムの策定等を行う]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

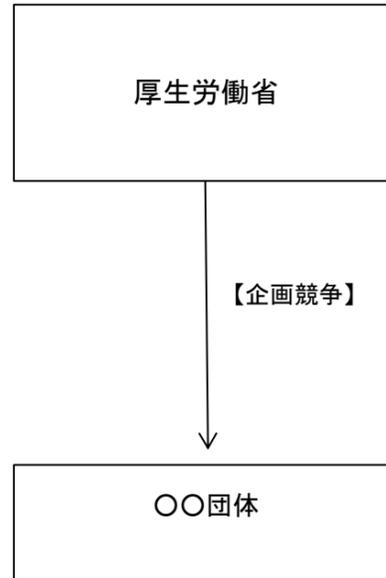
平成26年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	歯科技工士養成のための教育に関する調査事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	開始年度 :平成26年度 終了(予定)年度:平成26年度		担当課室	歯科保健課		課長 : 鳥山 佳則		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は養成所に対して養成課程の講義内容等に関して調査を行い、本調査結果を踏まえ、厚生労働省で定めている各養成所の指導要領等の見直しに着手することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	歯科技工士の養成所等に対して、養成課程にて実施されている講義内容や、養成所卒業後の診療現場にて必要とされる治療技術等に関して調査を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	4	-	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率 (%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	検討会開催回数		成果実績	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	1
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	アンケート結果回収数		活動実績	-	-	-	-	-
			当初見込み	-	-	-	-	53
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	単位当たりコスト = X / Y X: 執行額 Y: 報告書数		単位当たりコスト	-	-	-	-	4
			計算式	-	-	-	-	4/1
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	保健福祉調査委託費	4	-	-				
計	4	-						

事業所管部局による点検・改善				
	項目		評価	評価に関する説明
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	歯科技工士の質の向上のため、当省で定めている養成所の指導要領の見直しに着手することを目的としており、国費で実施すべきものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	歯科技工士の質の向上のため、当省で定めている養成所の指導要領の見直しに着手することを目的としており、国で実施すべきものである。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	養成所の指導要領等の見直しを目的としており、優先度の高い事業である。
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
	-	-	-	
点検・ 改善結果	点検結果	平成26年度より新規事業として実施。		
	改善の 方向性	平成26年度の単年度事業のため廃止		
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状 通り	事業の達成状況等を検証し、廃止の妥当性を検討すること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状 通り	事業の達成状況等を踏まえ、予定通り廃止する。			
備考				
-				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成23年	-	平成24年	-	平成25年 新26-009

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

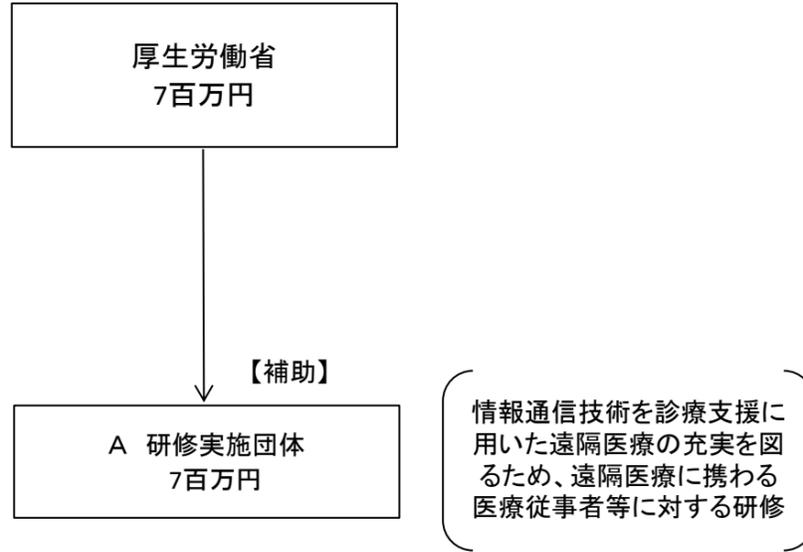
平成26年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	遠隔医療従事者研修事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	開始年度 :平成26年度 終了(予定)年度:終了予定なし		担当課室	研究開発振興課医療技術情報推進室		室長:片岡 穰		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成25年6月:健康・医療戦略 平成25年6月:世界最先端IT国家創造宣言				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	遠隔医療の実施を予定している医師等に対し、遠隔医療の機能や運用するためのポイントなどについての研修を実施し、知識と理解を深めることで普及・促進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	遠隔医療を行うための機器の導入の検討をしている医師等の病院関係者や、実際に遠隔医療、遠隔診療を行っている医師等を対象に、遠隔医療の目的、機能や運用していくためのポイントなどについて、情報通信システムを活用した研修を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	7	7	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計		-	-	-	7	7	
	執行額		-	-	-	-	-	
執行率(%)		-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値(26年度)
	研修受講者数		成果実績	人	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	60
			達成度	人	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	研修開催件数		活動実績	回	-	-	-	-
			当初見込み	回	-	-	-	1
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	単位当たりコスト = X / Y X: 予算額 Y: 研修開催件数		単位当たりコスト	千円	-	-	-	6,780
			計算式	X / Y	-/-	-/-	-/-	6,780/1
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	医療関係者研修費等補助金	7	7					
計	7	7						

事業所管部局による点検・改善				
	項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	遠隔医療に携わる医療従事者等の資質向上を目的としており、遠隔医療の地域差が生じないよう、国が実施すべき事業であり、国費を投入すべき。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地方自治体や民間等に委ねた場合、実施されない可能性があるため、国が実施すべき事業である。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	遠隔医療に携わる医療従事者等の研修を実施する際に国庫補助を行うものであり、受講者数を増加させるため優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
	-	-	-	
	-	-	-	
点検・改善結果	点検結果	本事業は今年度から始まったばかりであり、活動実績はあがっていない。		
	改善の方向性	平成26年度事業の実施状況等を踏まえ、見直し等を検討したい。		
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	-			
備考				
-				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成23年	-	平成24年	-	平成25年
				新26-010

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					